

KELES Newsletter No.5

関西英語教育学会ニューズレター No.5

事務局：〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号

関西大学 外国語教育研究機構 吉田信介研究室内

Tel : 06(6368)0477 e-mail : keles@infoseek.jp URL : <http://keles.hp.infoseek.co.jp/>

2006年9月15日発行



第 32 回全国英語教育学会高知研究大会問題別 討論会の報告

8月の全国英語教育学会高知研究大会において、メンタル・レキシコン、表象、コーパス、CALLをキーワードとして、語彙習得の新しい研究視点を提示する問題別討論会(タイトル:「語彙習得—新しい研究の視点—」)が、KELES 会員 5 名(コーディネーター・提案者: 倉本 充子(広島国際大学)、提案者: 藪内 智(京都精華大学)、石川 慎一郎(神戸大学)、石川 保茂(京都外国語大学)、杉森 直樹(立命館大学))により行われました。近年非常に関心の高まっている語彙習得に関わる議論が斬新な切り口で展開されました。100名ほどの聴衆を得て、有意義な意見交換の場となりました。

倉本は、近年の言語処理に関わる長期記憶と音韻ループの関わりを示す記憶モデルに基づき、メンタルレキシコン内に語彙ネットワークとして存在するとされる個々の語彙項目への二重アクセスモデルを紹介し、読解において音韻符号化型処理のルートが活性化されていることを示唆した実証研究について報告しました。

藪内氏は、日本人英語学者の言語産出プロセスにおける動詞の語彙情報の役割についての心理言語学的実験(横川&藪内、2005)に基づき、言語産出モデルに対する示唆を提示したうえで、メンタルレキシコンの意味ネットワークについて、英単語親密度データベース(横川編、2006)に基づく自由語彙連想法を用いた調査結果を報告されました。

石川(慎)氏は、語彙指導のコンテンツ抽出におけるコーパスの可能性について概観されました。今日、語彙指導全般のデザインを構築するには、語彙表の適正なサイズを考慮したうえで、コーパス準拠型語彙表は不可欠なものであるが、一般目的用の EGP と専門分野に応じた ESP 語彙表を連結させた一種のハイブリッド方式が、次世代の検討課題であると同時に、サイズと効率という二律背反に対する解決の糸口になることを示されました。

石川(保)氏と杉森氏は、オンライン型英語発音演習支援システム AmiVoice CALL を用いた単語の発音演習について、具体的に語彙指導を提示されました。既存のシステムとは異なり、学習者の発音のどの部分が問題であるかが的確に指摘され、事前・事後テストでの比較の結果、子音の発音に改善点が見られ、学習者がリアルタイムで客観的かつ具体的に問題点を把握できるという当該システムの斬新さを紹介されました。

倉本 充子(広島国際大学)

2006年度第2回KELESセミナーのご案内

前回の大阪セミナーに引き続き、今回は神戸にてセミナーが開催されます。石川 慎一郎氏(神戸大学)を講師に、「言語教材の難易度分析手法の入門—コーパスを教室でどう使うか—」と題して、TTR、Guiraud、Flesch Reading Easeなどの指標や概念について平易に解説していただいたうえで、Excel(R)を用いながら、ハンズオンの実習を行っていただきます。詳しくは、同封の案内状

をご覧ください。参加ご希望の方は、電子メール
(件名:「セミナー申し込み」)にて、お名前、
ご所属、会員・非会員の別を明記のうえ、
oka[@]uhe.ac.jpまでお申し込みください。なお、
申し込み受付は、9月22日(金)からとさせていただきます。定員になり次第締め切らせていただきますとともに、学会HPにてその旨お知らせいたします。

◆ 日時: 2006年10月14日(土)午後2時~5時

受付開始: 午後1時30分

◆ 会場: 三宮研修センター

神戸市中央区八幡通4-2-12

Tel: (078)232-0081

三宮駅より南側へ徒歩4分。

◆ 定員: 先着20名

持参物: ノートパソコン(MS Word (R) /
Excel (R)がインストールされていること)・電源アダプター

◆ 費用: 会員無料、非会員500円

なお、2006年度第3回KELESセミナーは、12月初旬に、清水裕子氏(立命館大学)を講師にお招きして、評価やテストングをテーマに、京都にて開催されます。

『英語教育研究』第30号の原稿募集

今回は、新編集規定(ニューズレター前号参照)への移行期間措置として、2006年度の関西英語教育学会大会・全国英語教育学会大会での口頭発表済論文だけでなく、上記以外の論文についても幅広く受け付けます。ふるってのご投稿をお待ちしています。

投稿受付から刊行までのスケジュールは、以下の通りです。

10月1日: 投稿受付開始

10月末日: 投稿受付締切

11月末日: 査読結果通知

1月末日: 修正原稿締切

3月末日: 刊行

学会HP上で、英語論文用、日本語論文用のホー

ムページを公開していますので(9月15日に新版に差し替え)、新テンプレートを利用して執筆してください。

紀要編集委員会 委員長

石川 慎一郎(神戸大学)

会費納入のお願い

年会費は以下の通りです。

1. 一般会員(関西のみ)5,000円
2. 一般会員(関西+全国)7,000円
3. 学生会員(関西のみ)3,000円
4. 学生会員(関西+全国)5,000円

未納の方には、「納入のお願い」と振込票を同封させていただきました。また、10月までの納入が、『英語教育研究』第30号の投稿資格となりますのでご注意ください。なお、会費納入などに関するお問い合わせは、会計 岡 良和[oka[@]uhe.ac.jp]までお願いいたします。

新入会員紹介

(7月23日以降9月10日入金確認まで)

小泉 毅 山本 美津子

岩見 理華 福永 恒泰

(敬称略、入会順)

紀要DVD販売のお知らせ

待望の紀要DVDが刊行

英語教育研究の全貌をPC画面に!

会員特別価格 3,000円

『英語教育研究』過去28年分、『卒論・修論研究発表セミナー発表論文集』過去9年分をすべて電子化。鮮明な画像で論文を通読できるほか、OCRによるテキスト情報を埋め込みましたので、論文内の単語などでの検索も可能になりました(ただし、OCRの認識率は100%ではなく、完全な検索はできません)。

KELESの歩みの記録として、また、英語教育研究の必携情報レポジトリとして、ぜひお手元におそろえください。なお、購入に関するお問い合わせは、会計 岡 良和[oka[@]uhe.ac.jp]までお願いいたします。